

■施設概要[第1期]

施設名称……大垣市一般廃棄物最終処分場
所在地……大垣市荒川町897番地
総面積……30,000㎡
着工……平成2年9月
竣工……平成4年9月
総事業費……1,019,650千円

この施設は建設費の一部に
年金積立金還元融資を受け
て建設されています。

施設構成

●埋立処分場

埋立期間……約9年
埋立面積……20,600㎡
埋立容量……87,000㎡
埋立対象物……ごみ焼却灰
埋立方式……準好気性埋立

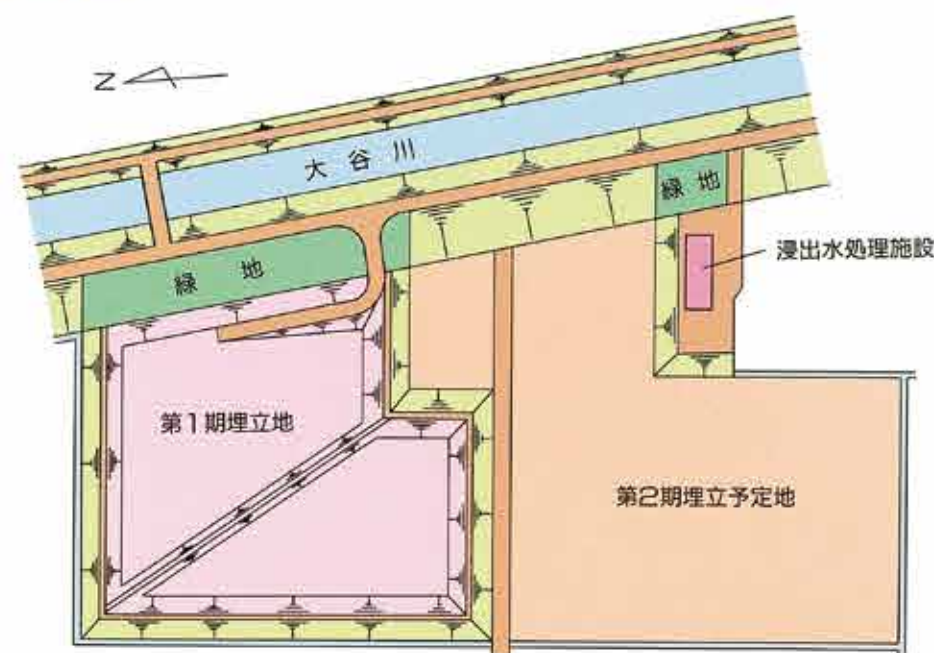
●浸出水処理施設

処理能力……60㎡/日
処理方式……接触ばっ気方式+高度処理
主要設備……前処理[カルシウム除去]設備
生物処理設備、脱窒処理設備
凝集沈殿設備、砂ろ過処理設備
活性炭吸着設備、污泥処理設備

■施設の特徴

- ①埋立処分場内には全面に遮水シートを張り、浸出水が周辺環境を汚染しないように環境保全を図っています。
- ②浸出水処理施設は、安定した水処理を行える接触ばっ気型生物処理や色素・CODの除去に効果的な活性炭吸着処理など最新処理システムを採用しています。

施設全体配置図



事業主体 大垣市

管理：米野清掃センター

〒503 大垣市米野町3丁目41番地
☎(0584)89-4124 FAX 89-6090

住みよい
環境をめざして



大垣市

一般廃棄物最終処分場

捨てれば“ゴミ” 生かせば“資源”

ごあいさつ

大垣市は「水を愛し 緑をはぐくむ 人間性豊かな産業文化都市」をめざし、21世紀を展望した都市づくりを進めております。

なかでも一般廃棄物は急激な生活様式の多様化に伴い、増加の一途をたどっており、市民生活に直結する生活環境の整備は行政の最も重要課題の一つとなっております。

本市は環境行政確立の一環として、このたび大垣市一般廃棄物最終処分場を完成いたしました。

この処分場は、汚水の地下浸透を防止する遮水設備や高度処理を備えた浸出水処理施設を設置し、環境保全と公害対策に万全の配慮をしております。

今後は本施設の円滑な運営と管理によって、清潔で快適な生活環境の確保に努めてまいりたいと存じますので、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、本施設の完成にあたり深いご理解とご協力を賜りました関係各位に心からお礼申しあげ、ごあいさつといたします。

処理のしくみ

最終処分場

全面に遮水シートを張り、浸出水を確実に集水し、公共の水域や地下水を汚染しないようにしています。集水した浸出水は浸出水処理施設へ送ります。

調整槽設備

調整槽で一旦貯留して水量、水質の変動を緩和し一定量を処理施設へ送ります。

カルシウム除去設備

浸出水中のカルシウムを除去して、配管・ポンプ類のスケーリングを防ぐための設備。炭酸ソーダを添加し凝集沈殿処理を行います。

生物処理設備

接触ばっ気方式を採用しています。充填材表面に付着した微生物を利用して、原水中の有機物、窒素成分の分解を効率的に行います。

凝集沈殿設備

生物処理水中の浮遊物質は、薬品を添加することによって凝集させ、重力沈殿除去します。

砂ろ過・活性炭吸着設備

微細な浮遊物質を砂による複数のろ過層で捕捉し、さらに活性炭の強力な吸着力によってCODや色度成分などを除去します。処理水は塩素滅菌の後、放流します。

汚泥処理設備

処理過程から排出される汚泥は、濃縮後、遠心脱水機にて脱水され、ケーキホッパーに貯留し搬出されます。



●浸出水集水ビット ガス抜き



●ケーキホッパー



●生物処理設備 凝集沈殿設備



●監視盤 制御盤



●砂ろ過設備 活性炭吸着設備



●脱水設備



●薬品注入設備



フローシート

